**PANITIA JAPANZUKI SHOW 12**

**HIMPUNAN MAHASISWA BAHASA JEPANG**

##  FAKULTAS PENDIDIKAN BAHASA DAN SASTRA

## UNIVERSITAS PENDIDIKAN INDONESIA

###### Sekretariat : Gd. Geugeut Winda (PKM) UPI Lt. 2 Jl. Dr. Setiabudhi No. 229 Bandung

**うらしまたろう**

 むかし、ある\_\_ところに\_\_うらしまたろう\_\_という \_\_わかい\_\_おとこが \_\_いました。あるひ\_\_たろうは\_\_こどもたちに\_\_ はじめられている \_\_かめを\_\_たすけて\_やりました。かめは「たすけて\_\_いただいて、ありがとう\_\_ございました。」といって、たろうを\_\_うみの \_\_なかの\_\_おしろへ\_\_つれていって\_\_くれました。そこに\_\_は\_\_とても\_\_きれいで、やさしい\_\_おひめさまが \_\_いました。たろうは\_\_まいにち\_\_ たのしく\_\_くらしていましたが、うちへ\_\_かえりたく\_\_なりました。

かえる\_\_とき、おひめさま\_\_は\_\_おみやげに \_\_はこを\_\_くれました。でも、ぜったいに\_\_はこを\_\_あけては\_\_いけ ないと\_\_いいました。たろうは\_\_りくへ\_\_ かえりましたが、どこにも\_\_うちは\_\_ありませんでした。みちで\_\_あったひとが\_\_３００ねん\_\_ぐらいまえに\_\_うらしまたろうの\_\_うちが \_\_あった と\_\_おしえて\_\_くれました。たろうは \_\_かなしくなって、おみやげの\_\_ はこを\_\_あけました。すると、なか から\_\_しろい\_\_けむりが\_\_でて、たろうは\_\_かみが\_\_まっしろな\_\_おじいさんになりました。